

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、緩やかに持ち直している」

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。



（判断の要点）

個人消費は、スーパーやコンビニエンスストアが堅調となっていることから、全体としては緩やかに持ち直している。生産活動は、汎用・生産用機械、化学が持ち直しつつあるものの、非鉄金属が弱含んでいることから、全体としては一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	弱含んでいる	一進一退の状況にある	
雇用情勢	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直しの動きに一服感がみられる	

設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	7年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	7年度は減益見込み	7年度は減益見込み	
企業の景況感	現状判断は「上昇」超	現状判断は「下降」超	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

スーパーは、総菜等の食料品が堅調であることから、全体としては堅調となっている。コンビニエンスストアは、飲料やファーストフードに動きがみられることから、全体としては堅調となっている。ドラッグストアは、食料品等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。家電大型専門店は、パソコン等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。ホームセンターは、季節商品の動きが鈍いことから、全体としては弱含んでいる。百貨店は、食料品や高額品に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。乗用車の新車登録・届出台数は、小型車及び軽乗用車は前年を上回っているものの、普通車は前年を下回っていることから、全体としては前年を下回っている。観光は、外国人観光客が増加していることなどから、緩やかに回復している。旅行は、国内旅行、海外旅行ともに、緩やかに持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 中食需要の高まりから、弁当・揚げ物・寿司が売上げを伸ばしている。(スーパー)
- キャベツなどの冬野菜は、単価が前年は高騰していたが今年は下がったことにより、売上げが落ち込んだ。(スーパー)
- 気温の高い日が多かったことにより、飲料の売行きがよい。(コンビニエンスストア)
- 価格の上昇や販売促進の効果により、ファーストフードの売上げが好調。(コンビニエンスストア)
- 価格の高騰により、インスタントコーヒーや鶏卵の売上げが伸びている。(ドラッグストア)
- 商品価格の上昇から買い控えがみられるものの、新規出店効果により、売上高は前年を上回っている。(ドラッグストア)
- パソコンは、一部 OS のサポート終了や、メモリのさらなる価格高騰の見通しによる買替需要が高まり、売行きが好調。(家電大型専門店)
- 気温の高い日が多かったことにより、電気ストーブや加湿器などの季節家電の動きが鈍かった。(家電大型専門店)
- 気温の高い日が多かったことにより、カイロや暖房用品の売上げが減少している。(ホームセンター)
- 催事により総菜や菓子の売上げが好調であり、中でも期間限定販売の菓子が人気を集めている。(百貨店)
- 高級時計は、入荷するとすぐに売り切れる状況が続いており、売上げが好調。(百貨店)
- 販売価格の上昇により、消費者の買換えを控える動きが見られる。(乗用車)
- 国際線の増便により、台湾と韓国からの観光客が増加している。(観光)
- 物価高による旅行控えもみられるなか、大型テーマパークを組み込んだツアーのほか、チャーター便やクルーズ船を貸し切ったツアーが人気を集めた。(旅行)

■ 生産活動 「一進一退の状況にある」

汎用・生産用機械は、国内外の堅調な需要を背景に、持ち直しつつある。化学は、国内外の堅調な需要を背景に、持ち直しつつある。食料品は、一部に弱さがみられることから、横ばいの状況にある。非鉄金属は、原材料不足などから、弱含んでいる。

- 国内外の設備向けや装置向け需要が堅調なことから、生産状況は好調。(汎用・生産用機械)
- 安定した需要を背景に、前期の設備更新などによる減産の反動もあり、生産量は増加。(化学)
- 人手不足の外食産業向け受託製造が堅調で、取引先・量ともに増加している。(食料品)
- 電気金は、原材料品質の関係から生産量減少が継続。(非鉄金属)

■ 雇用情勢 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

有効求人倍率は横ばいとなっている。新規求人数は前年を下回っている。法人企業景気予測調査の従業員数判断BSIをみると、3月末は全産業で33.2%ポイントと「不足気味」超となっており、企業の手不足感は続いている。

- 物価高による生活防衛のため、中高年層を中心に、より良い条件を求めて求職活動が長期化する動きがみられている。(労働局)
- 人員の充足や求人の見直し等が影響し、新規求人数は減少したが、企業の手不足感は依然として緩和されていない。(労働局)
- 外国人材の活用が広く浸透しつつある中、業種や事業規模を問わず外国人材の雇用を検討・希望する事業者の声が増えている。(労働局)
- 応募者と求める人材とのミスマッチが多く、人手確保は難航している。また民間求人サービスの利用は有効と考えるものの支払報酬等の負担感が大きい。(化学)

■ 設備投資 「7年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 製造業で前年度を下回る見込みとなっているものの、非製造業で前年度を上回る見込みとなっており、全体としては前年度を上回る見込みとなっている。

■ 企業収益 「7年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 製造業及び非製造業で減益見込みとなっており、全体としても減益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数で見ると、貸家においては前年を下回っているものの、持家及び分譲においては前年を上回っていることから、全体としては前年を上回っている。

- 住宅価格が当分下がることは無いと考えて購入する動きもみられた。(建設)
- 分譲住宅は注文住宅と比較して安価で購入が可能な点や、購入から入居までの期間が短い点により、人気は底堅い。(建設)

■ 公共事業 「前年度を上回っている」

- 前払金保証請負金額で見ると、独立行政法人等は前年度を下回っているものの、国、県及び市町村は前年度を上回っていることから、全体としては前年度を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前回 (8年1月判断)	今回 (8年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
香川県	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。
徳島県	緩やかに持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。
愛媛県	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。
高知県	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、持ち直しつつある。生産活動は、持ち直しの動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。